

D^{でーえっくす}X-E^{いい}さが

スーパーティーチャーによる1人1台端末を活用した授業公開
会場 唐津市立久里小学校



古賀 太一郎 教諭

2025.12.3 授業公開

スーパーティーチャー

この単元では、説明的な文章を読み、伝えたいことがわかるよう要約する力を育成することを目標にしています。子供たちは「接着剤の今と昔」を題材に、グループで協力しながらデジタル絵本を制作する学習を進める中で、伝えたいことに結びつく語や文を見つけ、具体的な絵本表現に結び付ける活動を通して、文章理解や要約の力を深めています。デジタル絵本づくりは学習材の魅力を引き出し、児童の意欲を高めるやりがいのある言語活動となっています。どの児童も目的意識をもって主体的に取り組み、対話によって自分の考えを深めていく姿がとても印象的な授業です。

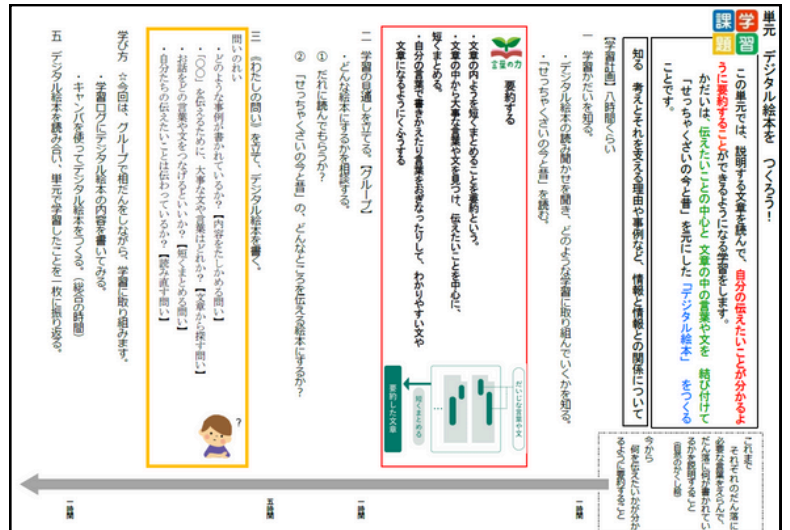


第5学年 国語科
単元名：デジタル絵本をつくろう！
学習材：「接着剤の今と昔」

全8時間くらい

単元の導入

1. 学習課題を知る。
 - ・単元を見通すことができるよう、学習課題を示す。
2. 学習の見通しを立てる。
 - 学習を自分ごとにしていくために、デジタル絵本を見せる相手を考える。
 - 「接着剤の今と昔」の範読を聞き事例を確認する。
 - デジタル絵本の内容を簡単に相談する。
 - これからの学習の見通しをもたせるため、学習計画で時数や最終のゴールを確認する。



3. 問いを立て、デジタル絵本をつくる。
 - ・作りたい絵本を完成させるためには、これからどのようなことを解決していけばよいかを《私の問い》として表現することを伝える。
 - 《私の問い》をたてる。【個人】
 - デジタル絵本の情報交換をする。【学級全体】
 - デジタル絵本づくりに取り組む。【グループ】
- (学習活動)

それぞれのグループでは、目的に沿った様々な活動が展開されています。

単元の展開

先生にデジタル絵本作りの進捗状況を報告し、これからの相談を行う。



学習ログにデジタル絵本の内容や流れをまとめていく。



全文プリントを参考に、筆者の考えと事例を整理する。



どのような絵本にしていくかを話し合う。



疑問に思ったことや知りたいことを調べる。



要約したことをCanvaを活用しデジタル絵本に表現していく。



本時の振り返りをする。
【個人】

単元の終末

4. デジタル絵本を読み合う。
5. 単元の振り返りをする。



「SAGA Eコネクト」ではたくさんの事例を紹介しています。

<https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>

先生たちの広場

ID：〇〇〇〇

PW：〇〇〇〇

- さがのICT活用教育 -
SAGA Eコネクト

